

2023年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

株式会社 ヤギ

(証券コード 7460)

2023年2月10日

将来見通しに関する注意事項：本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1. 2023年3月期 第3四半期業績

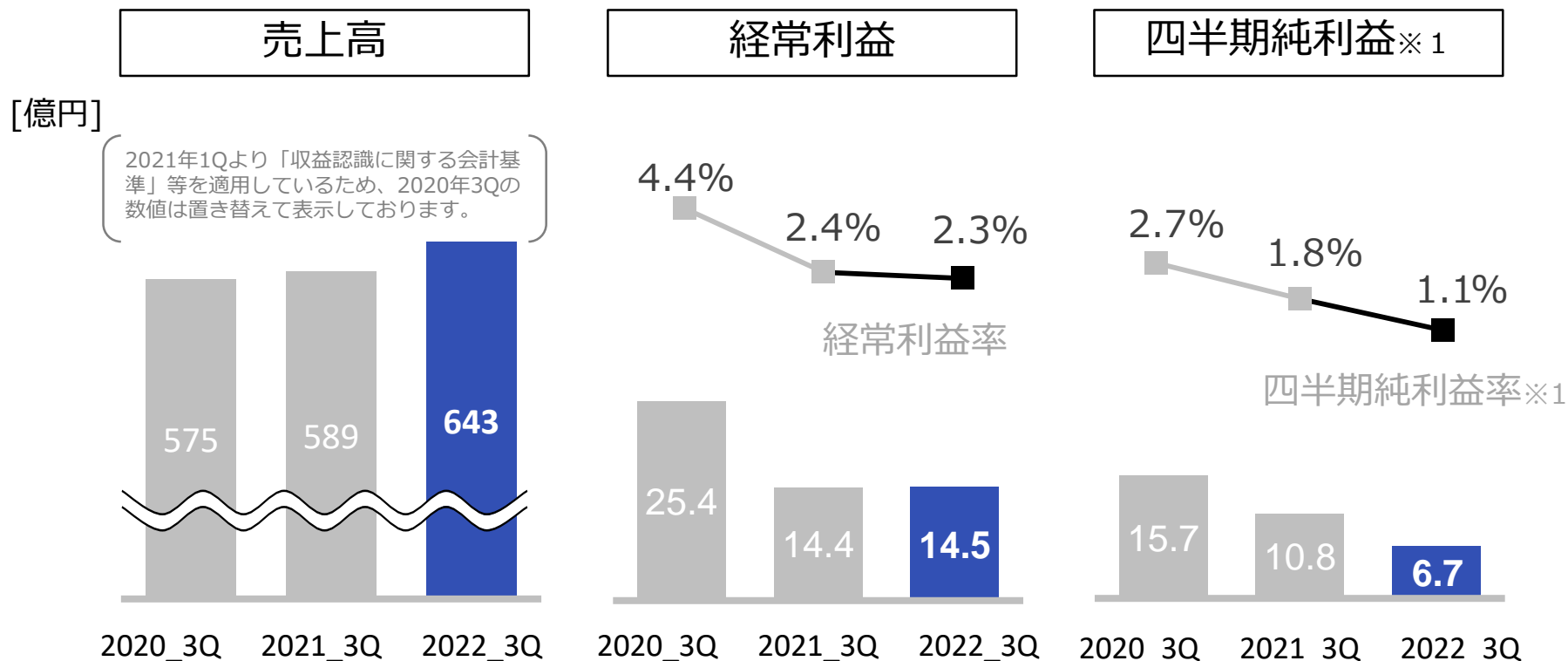
- (1) 2023年3月期 第3四半期連結決算の概要
- (2) 経常利益 増減要因
- (3) セグメント別 売上高
- (4) セグメント別 経常利益
- (5) バランスシートの状況
- (6) 2023年3月期の見通し

2. TOPICS

- (1) VISION 進行中
- (2) サステナビリティへの取り組み

(1) 2023年3月期 第3四半期連結決算の概要

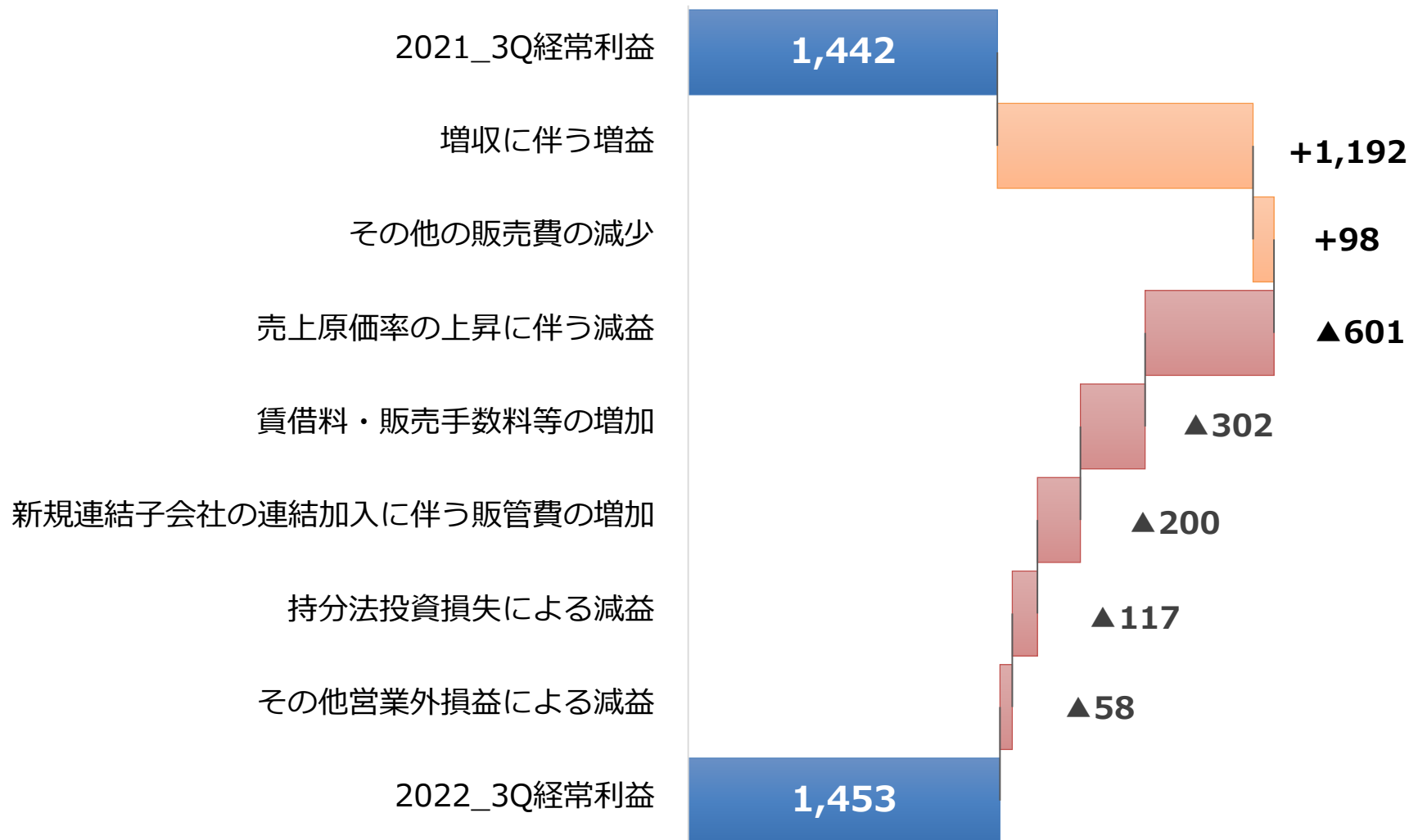
- 売上高643億円(前年同期比増減+9.2%)、経常利益14.5億(+0.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益6.7億円(▲37.7%)
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも経済活動は正常化に向かったが、世界的なエネルギー価格の上昇、原材料価格の高騰に加え、世界的な金融引締めによる急速な円安の進行によるコスト高の影響等により増収減益



※1.親会社株主に帰属する四半期純利益

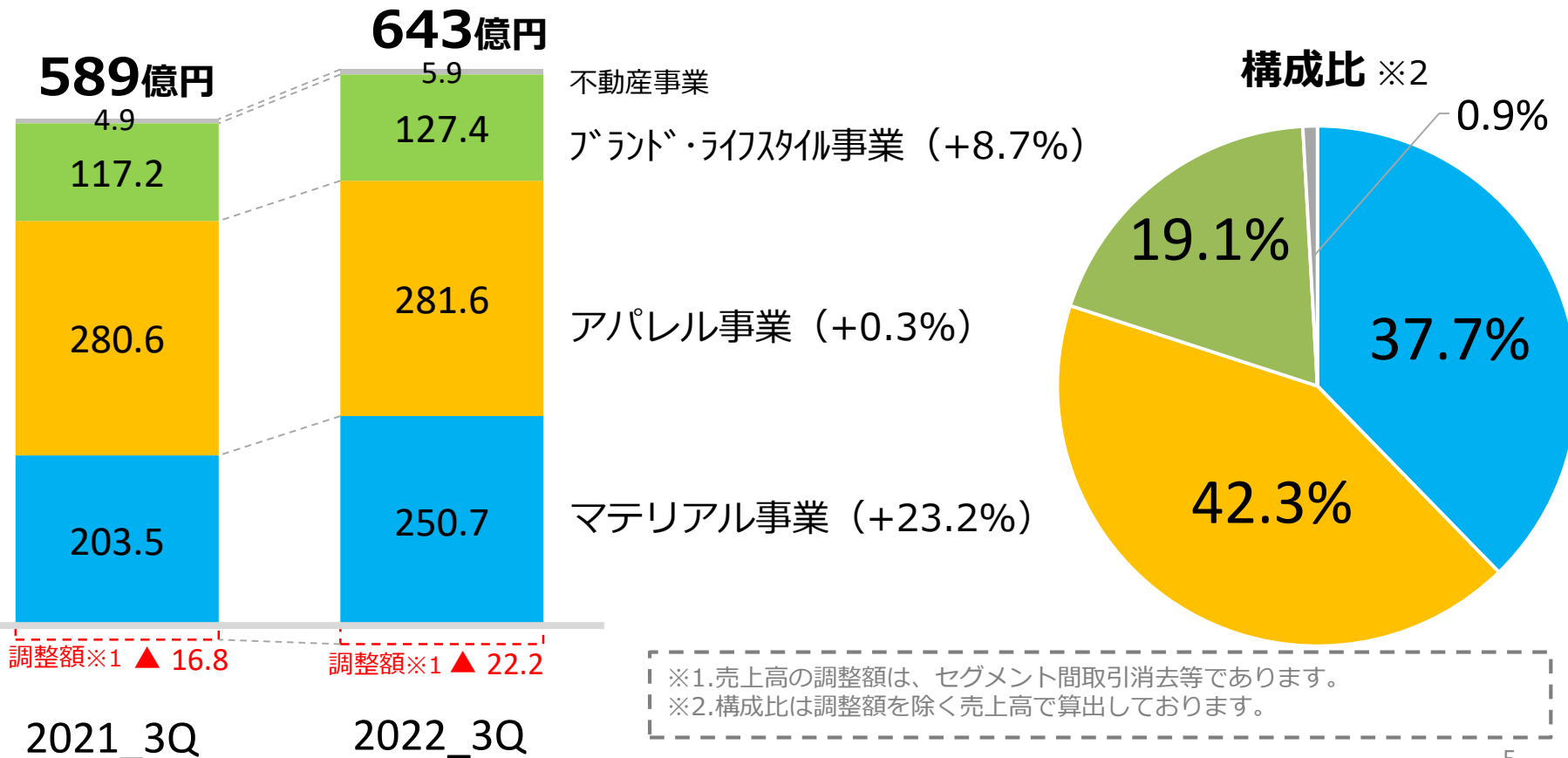
(2) 経常利益 増減要因

[百万円]



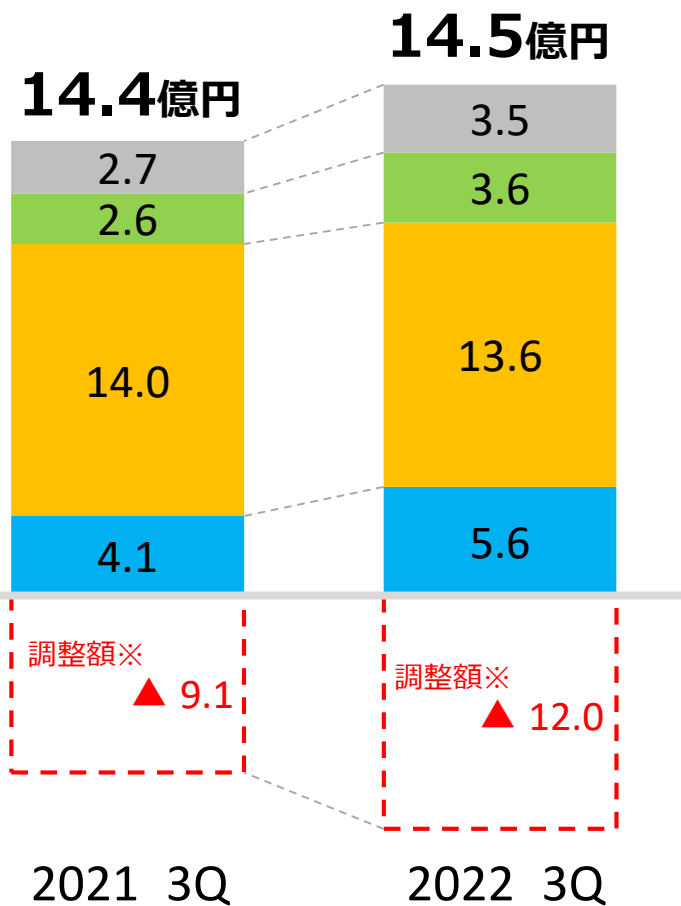
(3) セグメント別 売上高

- 売上高 643億円、前年同期比増減+54億円 (+9.2%)
- マテリアル事業は、天然繊維において主力となるサステイナブル素材のオーガニック糸の荷動きが堅調に推移したことにより増収
- アパレル事業は、重衣料の販売で苦戦を強いられたものの、行動規制の緩和による人流の回復もあり、全体として復調傾向となったことにより微増収
- ブランド・ライフスタイル事業は、消費マインドの回復基調等により増収



(4) セグメント別 経常利益

➤ 経常利益 14.5億円、前年同期比増減+0.1億円 (+0.8%)



※セグメント利益または損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

主な増減要因

- **マテリアル事業** 5.6億円 (前年同期比増減: +1.5億円)
 - ・合成繊維は、高次加工糸等の差別化原料や車輻向け原料販売に注力しているが、長引く原材料価格の高騰・電気代の値上げによるコスト増で対応に苦慮
 - ・一方、天然繊維は、主力となるサステイナブル素材のオーガニック糸の荷動きが堅調に推移したことにより増益
- **アパレル事業** 13.6億円 (▲0.3億円)
 - ・コロナ禍での行動規制の緩和や人流の回復もあり、市場全体としては復調傾向にあったが、年末にかけて気温の低下が遅く、重衣料の販売で苦戦
 - ・更に、原材料及び燃料価格の高騰や急速な円安進行で輸入コストが上昇したことにより減益
- **ブランド・ライフスタイル事業** 3.6億円 (+0.9億円)
 - ・生活雑貨や資材を取り扱うライフスタイル事業においては、原材料や加工で差別化を図った高機能資材などの販売が堅調に推移
 - ・ブランド事業は、コロナ禍で冷え込んでいた消費マインドの反動や、一部ブランドでの原価高騰に伴う販売商品の値上げ等が収益の確保に寄与できたことにより増益
- **不動産事業** 3.5億円 (+0.8億円)

(5) バランスシートの状況

- 現金及び預金は前期末比増減▲10億円
- 自己資本は+2億円（株主資本は+5億円）
- 自己資本比率は48.7%（前期末比▲5.1pt）

[億円]

2022年3月期末

総資産 647億円

現預金 68	他負債 201
他流動資産 333	有利子負債 94
たな卸資産 90	株主資本 336
固定資産 154	
その他の包括利益累計額合計 10 非支配株主持分 4	

純資産
351億円

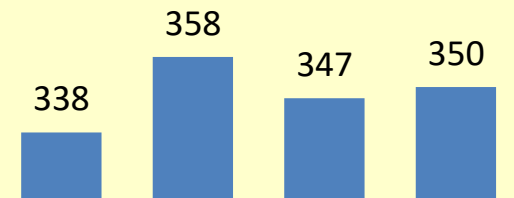
2023年3月期第3Q末

総資産 719億円

現預金 58	他負債 225
他流動資産 385	有利子負債 143
たな卸資産 107	株主資本 342
固定資産 168	
その他の包括利益累計額合計 7	

純資産
350億円

自己資本



2019末 2020末 2021末 2022_3Q

	2021末	2022_3Q末
自己資本比率	53.7%	48.7%

(6) 2023年3月期の見通し

■ 2023年3月期通期業績予想及び配当予想

➤ 業績予想

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益※	1株当たり当期純利益
790億円	20億円	22億円	11億円	132円11銭

➤ 配当予想

第2四半期末	期末	合計	配当性向
	48円00銭	48円00銭	36.3%

※親会社株主に帰属する当期純利益

※上記の業績予想及び配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 今後の方針

中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」の最終年度である当期は、「経営体制の高度化」「事業ポートフォリオの最適化」「次世代事業の創出」「サステナビリティの着実な実行」の4つの重点施策の総仕上げに取り組んでおります。一段と厳しい事業環境が続く中、コスト削減を強化しつつ、これからの社会環境変化を見据えた成長分野への経営資源投入とグループ経営体制の高度化を行い、次期中期経営計画のスタートにつなげてまいります。

- **マテリアル事業**：原料相場の高騰に対応するため、差別化素材としてオーガニックコットンの多品種取り揃えや、合成繊維糸の多様な高次加工化を図り、「Unito Organic (ユナイトオーガニック)」や「Natureel (ナチュリール)」といった差別化原糸のブランディングを強化しています。更に、SDGsを意識したリサイクル糸やケミカルリサイクル糸の取り扱いを増やし、原料から製品までのグループ内での一貫通貫を展開してまいります。
- **アパレル事業**：原材料価格や物流経費の高騰と円安基調により、今後も生産面や販売面で非常に厳しい状況が続くと予想されますが、引き続き主要仕入先との連携を深めコストを抑えつつ、優良販売先との取り組みを強化しています。また、ご好評をいただいているテキスタイルECサイト「Fably (ファブリー)」をはじめとして、業界内外や国内外に向けて新たな価値を提供するデジタルプラットフォームへの発展や、SDGsに対応した取り組みを更に強化してまいります。
- **ブランド・ライフスタイル事業**：ブランド事業においては、社会、顧客からの信頼と共感を高めるために環境配慮素材の取り扱いを増やし、地球環境に配慮した取り組みを進めることでグローバルに認知されるブランドへ成長させていきます。ライフスタイル事業においても、エシカル・サステナビリティの価値観にいち早く応えるために、より環境に優しく美と健康に寄り添った商品開発をグループ一丸となって進めることや、EC強化により更なる販売拡大を目指します。

2. TOPICS

- (1) VISION 進行中
- (2) サステナビリティへの取り組み

(1) VISION 進行中

当社のあるべき姿や未来に向けてのイメージを社会に向けて共有していくため「VISION」を策定し、その実現に向けた取り組みを進めています。

まずは社内での取り組みを進めており、様々な角度で組織貢献した課・個人を表彰するための表彰制度の見直しや、社内報を活用した企画の実施等を行っています。また、VISIONで掲げた「健康でイキイキと働く環境を構築する」の実現に向けて、健康経営の推進に取り組んでいます。

当社グループ社員全員が、自分の言葉でVISIONを語るができるように、今後、様々な形で浸透させていきます。そして、このVISIONを基に、社会と共通の課題解決を目指した取り組みを進めてまいります。



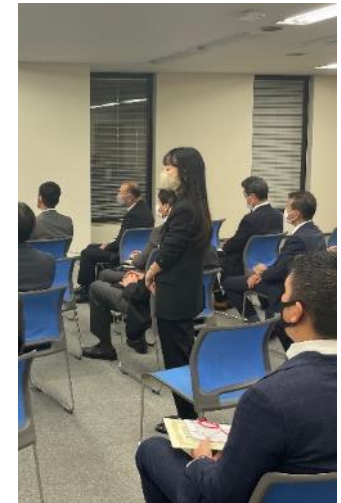
VISIONに対する取り組みの具体例

表彰制度「チームスピリット賞」の実施：

組織活性化や社員のモチベーションアップを目的として、「チームスピリット賞」を新設いたしました。

この賞は、全体最適を考え組織の枠を超えて当社グループの発展に貢献した課やプロジェクトチームを表彰するもので、今回は5つの課が選ばれ、昨年11月に表彰式を行いました。表彰式では、投票した部署から賛辞の言葉が述べられ、皆で讃えあう時間となりました。

今後もこのような取り組みを通して、「仲間同士が讃えあう」風土を醸成してまいります。



チームスピリット賞 表彰式の様子

(2) サステナビリティへの取り組み



「第1回 Femtech Tokyo」にて、
「re:i not plus minus」ブースの様子

当社のフェムテック・フェムケアブランドが 「第1回 Femtech Tokyo」に出展

2022年10月20日～22日、東京ビッグサイトにて開催された「第1回 Femtech Tokyo」に、当社のフェムテック・フェムケアブランド「re:i not plus minus（レイ）」が出展いたしました。

「re:i not plus minus」は、大人の女性のためのブランドとして、体の冷え、骨盤底筋の緩み、体型の変化など、大人の女性特有の課題をカバーしながら、アンダーウェアやインナーに限らず、ワークアウトウェアやスイムウェアなど、快適でありながらデザイン性も楽しめるようなアイテムを23年春夏シーズンから展開いたします。

更に今回は、VISIONにもある「仲間同士がたたえ合い、健康でイキイキと働く環境」の実現に向けて、当社のサステナビリティ推進への取り組みに向けたプロジェクト「YAGIthical」の活動の一つとして、社内公募によって集まった女性メンバーが、展示会当日の接客のサポートをしました。

このように社内でも協力し合いながら、「人々の豊かで快適な生活に貢献」することを目指し、女性の健康や活躍のサポートに繋がるような製品開発を進めてまいります。